

ニュース リリース

高校生が考える農福連携

(瑞穂農芸高校 × 多摩草むらの会連動企画)

東京都の幻のブランド豚を畑 de きっちんで

農芸高校と福祉の新しい農福連携の可能性を、瑞穂農芸高校のみんなだけでなく広く多くの方に知ってもらいたい。瑞穂農芸高校の生徒さんの思いから始まった企画が結実。

草むらの会の活動に興味を持った瑞穂農芸高校の生徒さんが、農芸高校との連動の可能性をアンケート調査や発表会での反響から連携事業を立案。その成果の一つとして、高校生が育てた東京のブランド豚（TOKYO X）を畑 de きっちんのメニュー（季節限定）に加えることになり、令和元年12月16日（月）新メニューのお披露目を行いました。

今後、様々な連携を発展させていきたいと思えます。

当日紹介された特別メニュー



さっぱりかつ奥行きのある味
ロース生姜焼



柔らかなヒレカツ



程よい甘さ
バラジンジャー煮



お披露目の会参加者一同



立案者と豚を育てた生徒さん

畑 de きっちん：東京都多摩市落合1-4 6-1 ココリア多摩センター6 F

お問い合わせ：

認定 NPO 法人多摩草むらの会 本部事務局

〒206-0034 東京都多摩市鶴牧 1-4-10 アネックス鶴牧 101

Tel: 042-339-8022 Fax: 042-339-8025

私たちはおいしい豚です

TOKYO

東京都の幻のブランド豚

～瑞穂農芸高校の生徒が育てた、TOKYO Xを畑deきっちんで～

期間限定メニュー



豚バラ肉のジンジャー煮
ハチミツ仕立て
1600円（税込）

豚ロース生姜焼き
1300円（税込）



ヒレカツ
900円（税込）



TOKYO Xとは

東京の地域特産豚肉の開発を目指して「TOKYO X」は生まれました。

北京黒豚、バークシャー、デュロックの3品種の良いところを取り込んで改良し、きめが細かく柔らかい肉質が特徴です。

TOKYO Xは「安全性」「生命力学」「動物福祉」「品質」の4つの理念に基づき「単に美味しい豚肉」ではなく、動物のことを第一に考えるとともに安全性や安心感をお届けできるように、畜産農家が大切に育てている豚です。



都立瑞穂農芸高校

東京都西多摩郡瑞穂町にある、農業について学ぶ園芸科学科・畜産科学科・食品科、家庭について学ぶ生活デザイン科の4つの学科から成る専門高校です。

畜産科学科では、TOKYO Xをはじめとする豚の他にも、鶏、牛、サルや犬などの小動物まで、幅広い動物と接しながら学んでいます。



高校生が考える農福連携

農福連携の重要さを、瑞穂農芸高校のみんなだけでなく、広く多くの方に知ってもらいたい。

高校生と福祉が連動することを皆さんに知ってもらえるきっかけとしたい。

瑞穂農芸高校の生徒さんの想いから始まった企画です。



多摩草むらの会

多摩市、八王子市を中心に、ノウフク連携、6次産業化を核に障害者支援とソーシャルファーム機能を発揮し社会に貢献しています。



高校生が考える農福連携 瑞穂農芸高校 × 多摩草むらの会 連動企画

